

富田地区むらづくり運動推進協議会

1 基本データ

- (1) 地区名 富田地区
- (2) 地区人口 3, 050人
- (3) 地区世帯数 909世帯 (H30.1.1現在)
- (4) 面積 21.7k㎡
- (5) 地区の沿革

富田地区は、東は九頭竜川、西は真名川の二大河川に挟まれ、日本百名山に数えられる荒島岳のふもとから、東西約4km南北約7kmに細長く広がる純農村地帯である。

- (6) 実施主体

富田地区むらづくり運動推進協議会



2 現状と課題

富田地区むらづくり運動推進協議会では、市民憲章を基調とし、富田地区の将来にわたって明るく豊かな地域の実現を図るため、地区住民が、自らの手による活気ある地域づくりの推進に努めている。

しかしながら、近年は、本協議会を構成する地区内の各種団体の活動自体が低迷・衰退しており、中には団体が解散したり、実質の活動が休止になっているものもあり、併せて、本協議会の中心となる各集落から選出される

「集落推進員」も地域活動への参画意欲の低下が見受けられ、本協議会の活動も、「花いっぱい運動」等の環境美化作業や「とみた夏まつり」以外には特筆すべき地域づくりの活動も見られず、協議会もそれらの運営に終始し、イベント終了後には活動が低調になっており、新たな地域づくりの方策を模索しているところである。

一方で、各集落においては、区長を中心として様々な地域づくりに関する活動が行われているが、この活動も、人口減少や高齢化の進行に伴い徐々に低下しており、地域コミュニティの衰退を招いている状況にある。



とみた夏まつり「みんなで踊ろう大野音頭」

3 事業の内容

【平成29年度の取り組み】

「地域資源を生かした地域住民による地域づくり交流事業」

実施行政区：蕨生区

「コミュニティ施設維持管理事業」

実施行政区：富嶋区、土布子区、下唯野区

森目区、上野区

平成29年度は、昨年を引き続き、それぞれが抱える問題を住民自らが解決する協働作業に対して支援をする「地域コミュニティ活動支援事業」を継続することとし、区民の安全な生活や利便性の向上、集落活動の活性化を目的とし、「地域資源を生かした地域住民による地域づく

り交流事業」に1集落が、また「コミュニティ施設維持管理事業」に5集落が取り組むこととなった。

①地域資源を生かした地域住民による地域づくり交流事業

(実施行政区) 蕨生区

(実施内容)

・地域資源(日本百名山荒島岳山開き等)を活かした事業で地区民参加による「おもてなしの心」により交流人口の増加を図った。

当地区高砂クラブをはじめ地区住民等の潜在能力の発揮による「舞台催事」と「おふくろの味」により地区民をはじめ登山愛好家を「おもてなしの心」でお迎えし、地区民と地区外から訪れた人達との交流を図り、もって地区のにぎわいの創出を図ることができた。



おふくろの味によるおもてなし



にぎわう会場の様子



山開きの神事



地区の子供達のステージ

②コミュニティ施設維持管理事業(その1)

(実施行政区) 富嶋区

(実施内容)

・富嶋集落センターには、これまで自転車や自動車を停める場所がなく、センターの横や、道路脇などに無秩序に停められていたが、集会センター南側の広場の一部を駐車場、駐輪場として整備することで、車輛が停め易くなり利便性や安全性が高まり、地域コミュニティ施設の環境整備が図れた。

その上を通る排水用U字溝も機能を満たしていない状況であったことから、改修することにより安全性の確保と排水機能の復旧が図られ、環境衛生の向上に繋がった。



重機を借り上げすき取り作業



整備前



コンクリート打設作業



補修作業の様子



整備完了



整備完了

③コミュニティ施設維持管理事業（その2）

（実施行政区） 土布子区

（実施内容）

- ・集落のごみステーション裏の石垣が経年劣化により破損が著しく、危険な状態であり、

④コミュニティ施設維持管理事業（その3）

（実施行政区） 下唯野区

（実施内容）

- ・集落センター周りにコンクリートを打設することにより、草刈等の維持管理の軽減と景観の美化を図り、もって区民の利用を推進し、地域コミュニティを促進する環境を整えた。



整備前



コンクリート打設作業



整備完了

⑤コミュニティ施設維持管理事業（その4）
（実施行政区） 森目区
（実施内容）

- ・これまで集落センターの裏へ周る時や清掃等の際、足元の悪いところを歩くため、躓いたり靴が汚れるなどの不便を伴っていたため、センター周りにコンクリートを打設することにより安全性、利便性が高まり、地区民の利用を促進し地域コミュニティを促すための環境が整備された。



整備前



整備後

⑥コミュニティ施設維持管理事業（その5）
（実施行政区） 上野区
（実施内容）

- ・当区において「日上がり公園」として古くから親しまれてきた公園では、桜が植えられ桜祭りなどのイベントも催されているが、そこへ通じる遊歩道が未舗装であり、草が生い茂るため、年に2回以上除草作業が必要であり、足元も悪い状況であった。今回アスファルト舗装をすることにより、維持管理の軽減と区民の利用推進が図られ、地域コミュニティの向上を推進する環境整備がなされた。



整備前の除草作業の様子



整地作業



舗装作業



整備後

4 事業の成果

少子高齢化が進み、各集落から若い人を中心に人口の流出が続いており、それに起因し、これまで実施されていた集落活動が年々低下しており、区内に設置されている広場等のコミュニティ施設も子どもの減少等により、その利用が減ったり、利便性が悪いことから使用頻度が少なくなり、その結果、雑草が生い茂ったりし、次に、その維持管理の負担が大きくなるという悪循環が発生している。

また、地域コミュニティの希薄化も進んできており、地域活動の低下にも繋がっている。

平成28、29年度の取り組みは、主に各集落で課題になっていることを住民自らが協働作業によりそれを解決する、地域コミュニティ活動の支援であり、2年間で地区内18集落の内、10集落が実施した。

10集落は、それぞれの課題やその解決策を地域で話し合い、実施することにより、区民の生活の利便性の向上や安全な地域活動の確保、また、これまでの維持管理等の負担軽減を図ると共に地域コミュニティを深める環境整備が図られた。

さらに1集落では、今年度地域の活性化を図るべく、地域の魅力発信やPRを兼ねた事業として地域資源を活かした地区民参加による事業を展開し交流人口の増加を図った。

これらの取り組みを通して、自らが考え、行う地域づくりの大切さと地域コミュニティ向上の重要性が再認識できた。

5 今後の展望

昨年と今年度で11集落の取り組みがあったため、本事業が継続している間に、地区内全集落が取り組むように働きかけていく。

なお、施設等の利便性を向上し、環境整備を

実施したものへの積極的な利用や活用による地域コミュニティの向上と自主的で継続的な地域活動の取り組みを期待したい。

また、この2年間は、各集落が所有する広場や集落センター周辺、その敷地の再整備等を行う事業が多かったが、次年度は、地域の活性化に資する新たな取り組みがなされることが望まれる。これにより、希薄となってきたコミュニティの醸成がはかられ、引いては富田地区全体の活力に繋がっていくことに期待したい。